

1. 教員の養成の目標及び計画

本学では、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に則り、真理を求め自由を愛する文化的で自立した個人を育成し、民主的で平和な市民社会の実現をめざすことを大学教育の基本理念としている。本学教職課程では、この基本理念を踏まえて、真理探究の徒としての教師を育成すること、またこの精神を次の世代に確実に伝達していく力量を持った教師を育成することを理念としている。そして本学教職課程では、教師を育成するにあたって以下の3つの目標を掲げている。

第一に、得意分野を持つ個性的な教師を育成する。教師となるものは、ひとつの専門分野に対して生涯にわたって興味を維持し探求を続け、それを得意分野としてほしい。そして得意分野の探求を通して根源的な真理に接近することによって自由と普遍性を獲得し、地球的広がりをもつ視野を展開してほしい。

第二に、専門職としての実践的指導力をもつ教師を育成する。教師は教科等に関する専門的知識や豊かな教養を基盤にして教育の成果を最大限高めるための教育方法・教授技術を身につけてほしい。そのためには、人間の成長発達について深く理解し、発達段階に応じた適切な教育方法を模索しながら工夫する教師であること、また教師としての使命感をもち、誇りをもった職業人としての教師を目指してほしい。

第三に、豊かなコミュニケーション能力を持つ教師を育成する。教職員全体と同僚として協力し合い、保護者や地域住民と連携しながら教育の成果を最大限引き出すためには、相互の信頼関係に基づいたコミュニケーションが不可欠である。また児童・生徒に対しては、カウンセリング・マインドを実践しながら彼らが直面するさまざまな問題に対して真摯に向き合い、彼らの問題解決を有効に支援できる教師を目指してほしい。

本学では以上の教員養成の目標を実現するべく、文学部（国際言語・文化学科、史学・文化財学科、人間関係学科）、食物栄養科学部（発酵食品学科）、国際経営学部（国際経営学科）の3学部5学科で中学校教諭（国語、美術、英語、社会、理科）と高校学校教諭（国語、美術、英語、地理歴史、公民、理科、商業）、司書教諭の養成課程を有し、また食物栄養科学部食物栄養学科では栄養教諭の養成課程を有し、教員養成に努めている。

また、大学院文学研究科（歴史学専攻、日本語・日本文学専攻、文化財専攻、臨床心理学専攻）では中学校教諭（社会、国語、美術）と高等学校（地理歴史、国語、美術、公民）、食物栄養科学研究科（食物栄養学専攻）では栄養教諭の専修免許課程を有し、教員養成に努めている。